

文化芸術交流実験室

2019/10 — 2020/1

Culture and Arts Exchange Laboratory



トークセッションとワークショップがセットとなった

新しい切り口のシリーズ企画です。

岡山県内の分野横断的な交流の

プラットフォームを目指します。

これまでになかった素敵な化学反応を、

みんなで起こしてみませんか？



各回：定員 30 名

当企画は、お昼をはさんでおりますため、

各回内容に合わせてのランチ付きです。

(ランチ代 1,000円は当日お支払いください)

24回目はドリンク代500円になります。



architecture

town planning

performing arts

welfare

education

photography

music

literature

cultural assets

history

traditional performing arts

food



local vitalization cooperator

international exchange

art

video

calligraphy

craft

design

fashion

tea ceremony · flower arrangement

分野を超えてつながることから

生まれるものを期待して



おかやま文化芸術アソシエイツでは、平成29年度より岡山県内の優れた文化・芸術資源の掘り起こしや、その価値を県民の皆様に再認識していただけるよう、調査研究事業を開始しました。

調査の過程で得られる新たな情報や、人材データをもとにして、文化・芸術と他分野との連携による新たな取り組みの提案やソーシャルインクルージョンの視点も盛り込んだレクチャーとワークショップを定期的に開催し、県内の人材や文化資源の領域横断的な出会いの場の創出と、ネットワーク構築を目指します。

この実験室に期待するのは、文化芸術コミュニティ内での交流はもちろん、福祉や教育、まちづくりなど様々な分野との交流に文化芸術の創造性を生かして、新しい取り組みが始まり、すべての人が文化芸術を楽しむことができる岡山が生まれることです。

主催：おかやま文化芸術アソシエイツ

(公社)岡山県文化連盟・岡山県

問い合わせ先：086-234-2626



2019年度
文化芸術創造拠点形成事業



大月ヒロ子

おかやま文化芸術アソシエイツ

プログラム・コーディネーター

武蔵野美術大学卒業後、板橋区立美術館学芸員として数多くのワークショップや展覧会を企画。その後独立して有限会社アイデアを設立。九州国立博物館「あじっば」、国立歴史民俗博物館「たいけんれきはく」、大阪府立大型児童館bigbang他で、コミュニケーションを誘発する新しい学びの場のデザインに取り組む。

平成25年、倉敷市玉島の実家を改装して、日本で初めてのクリエイティブリユース（地域から日常的に生み出される廃材をそのまま破棄せず、人のクリエイティビティー（創造性）を使って、これまでに見たこともないような素敵なモノに生まれ変わらせる取り組み）の拠点「IDEA R LAB」を開設し、全国から注目を浴びている。「IDEA R LAB」を中心としたコミュニティづくりは、これからの時代の地域づくりのあり方にも一石を投じることを予感させる。

www.facebook.com/IDEARLAB



おかやま文化芸術アソシエイツとは

岡山県文化連盟が持つ既存のネットワークを生かして、地域で生活する我々がその地域の文化を構成する資源（ヒト、コト、場所、お金等）についてよく知り、地域の未来を見据えた新たな価値の創造と多様なステークホルダーの共生について思考するために、平成29年度から始動した地域アーツカウンシル機能です。プログラム・コーディネーターに大月ヒロ子さんを迎え、様々な取り組みを始めています。



公益社団法人 岡山県文化連盟

おかやま
文化芸術アソシエイツ



お申し込みはwebサイトより

o-bunren.jp/lab-form



Hiroko Otsuki

「ことばから紐解く歌の世界」

歌の世界に息づく「ことば」に着目し、テーマを決めてリサーチしてみると、どんなことが見えてくるでしょうか。たとえば「手紙」という言葉が出てくる歌にはどんなものがあるでしょう？「絵」という言葉ではどうでしょう？探してみると、意外に沢山作られていることに気づきます。

今回は無類の音楽好きの、アートと落語の世界のお二人に水先案内人になっていただき、めくるめく「ことば」の海に漕ぎだすユニークな歌のワークショップを行います。もはやどこに領域があるかわからないプログラム。このワークショップが、どうして美術館で生まれたのかという楽しいエピソードも含めてのトークセッションをお楽しみください。カラオケセットもご用意して皆様をお迎えします。

詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：遊興亭福し満（落語家）

太田三郎（アーティスト）

開催地：岡山県天神山文化プラザ

関連分野：文学、アート、音楽、美術



★岡山県天神山文化プラザ

岡山市北区天神町8-54
TEL：086-226-5005
www.tenplaza.info

「社会とアート ～ひきうける美術～」

私たちは生きていく上で様々な痛みを抱えながら生活しています。大きな災害がもたらす死や離散、日常の中で生まれる家族間の問題などに対して、アートはどのようにふるまえるのでしょうか。

今回は身近な大人に虐待されて亡くなった子どもたちを取り上げた太田三郎さんの作品を鑑賞したり、宮本武典さんが手がけられてきた震災や中山間地での企画についてのお話をうかがいます。

ワークショップでは、それぞれのライフヒストリーをもとに小さなオブジェを制作し、衆楽園で即興的な「展示」をおこないます。

鑑賞・対話・制作・展示とこれまでになかった濃い時間を共に過ごしましょう。

詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：宮本武典（キュレーター）

太田三郎（アーティスト）

開催地：衆楽園 迎賓館

関連分野：まちづくり、アート、工芸、産業、歴史、デザイン、文学



★衆楽園 迎賓館

津山市山北628
TEL：0868-32-2082
(津山市観光振興課)
TEL：0868-32-2097
(津山市都市計画課)
www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=522

「地域おこし協力隊が育む岡山の文化芸術！」

今年は地域おこし協力隊制度が出来て11年目にあたります。これまで岡山県内では累計約344人の隊員の方々が活動されてきました。最近は、柔軟な地域おこしに自身の才能や能力を生かそうということで、芸術文化、教育などの分野での隊員たちの活躍が目立っています。それぞれの地域に暮らしながら、現場を見つめてきた隊員や隊員経験者に集まっていただき、長らくこの地に住んできた私たちではなかなか気づきにくい岡山の芸術文化の魅力や可能性を語っていただきます。それぞれの活動発表やワークショップ、成果物の持ち寄りも予定しています。

詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：藤井裕也（NPO法人山村エンタープライズ代表）

協力：ハブヒロシ（高梁市地域おこし協力隊、金ノプロペラ舎）、相澤麻有子（元笠岡市地域おこし協力隊/麦稈真田研究家）、豊島りえ（備前市地域おこし協力隊/国際コーディネーター）、西原千織（高梁市地域おこし協力隊/茶やまのび堂 店主）、甲田智之（元真庭市地域おこし協力隊/作家）

開催地：高梁市図書館

関連分野：伝統芸能、工芸、アート、デザイン、音楽、食、ダンス、教育



★高梁市図書館

高梁市旭町1306
TEL：0866-22-2912
takahashi.city-library.jp/library/ja

「人にとって表現とは何なのか」

多様性を尊重する動きがいつそう高まる社会的動向の中、社会でのあらゆる垣根を越えて参加できる公募展として9周年を迎える「ポコラート」、やりたいことを無理せずできる快適な生活介護事業所「ぬかつくところ」、既存の価値観や芸術観にとらわれない自由な働きや表現活動を基軸としたユニークな事業で注目を浴びる「NPO法人SWING」など、全国あちこちで、これまでになかったような生き生きとした活動が生まれています。

今回は、東京、京都、岡山のそれぞれの現場の方々にお集まりいただき、日々の活動の中から見ると、現代社会の中での私たちの暮らしや表現はどういう状況にあるかを語っていただきつつ、人にとって表現とは何なのかを一緒に考えてみようと思います。

詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：嘉納礼奈（芸術人類学研究、アーツ千代田 3331 社会包摂型芸術支援事業チーフ）

木ノ戸昌幸（NPO法人SWING代表）

中野厚志（ぬかつくところ代表）

開催地：いかしの舎

関連分野：美術、書道、メディア、福祉、教育、工芸、文学、音楽



★いかしの舎

都窪郡早島町早島1466
TEL：086-483-1243
www.town.hayashima.lg.jp/ikashinoya

22

遊興亭福し満



Photo:堀中佳一

静岡県生まれ。1998年遊興亭福し満の名で初高座。2002年『つやま芸術祭』に地元の江戸時代の絵師に構想を得た自作斬『飯塚竹斎』で参加。2009年春夏秋冬に笑門来「福」の会を開催。『怪談・乳房榎』（全編）『鯉沢』『怪談・牡丹灯籠』（全編）など三遊亭圓朝作の斬に取り組み始め、以後、独演会や地方公演等を行い、現在に至る。三遊亭圓朝作の人情斬、怪談斬に取り組み一方「楽しく心が軽やかになる斬」も追及し続けている。

22

太田三郎



山形県生まれ。国立鶴岡工業高等専門学校機械工学科を卒業し、1984年より切手と消印を用いて「時間」と「場所」の関連性をテーマに作品を制作。1994年から岡山県津山市を制作拠点に活動が続いている。戦没兵士や中国残留日本人孤児、被爆者、世紀の遺書など太平洋戦争に題材を得た「POST WAR」シリーズをはじめ、写真や植物の種子を素材とした作品など、様々な表現方法で作品を手がけている。
seedproject.jp

23

宮本武典



Photo:志藤康平

奈良県生まれ。2019年3月まで東北芸術工科大学教授・主任学芸員として、地域に根ざした協働型アートプロジェクトや、東日本大震災の復興支援プログラムを数多く企画・実施。「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」（2014、2016、2018）ディレクター。東根市公益文化施設まなびあテラス芸術監督。2019年4月より角川文化振興財団クリエイティブディレクターとして、同財団とKADOKAWAが埼玉県に建設中の角川武蔵野ミュージアム（2020年開館／隈研吾氏設計）の立ち上げを手がけている。
takenorimiyamoto.jp

24

藤井裕也



岡山県生まれ。岡山大学在学中にアジア各国で教育支援活動に従事。卒業後、美作市地域おこし協力隊として田舎に飛び込む。2015年NPO法人山村エンタープライズを設立、人が成長する場としての田舎の可能性を追求している。
sanson.asia/project/hitookoshi

25

嘉納礼奈



兵庫県生まれ。芸術人類学研究、EHESS（フランス国立社会科学高等研究院）、フランス社会人類学研究所在籍。パリ第4大学美術史学部修士課程修了。国立ルーブル学院博物館学課程修了。アウトサイダー・アートの研究、企画などに携わる。現在、アーツ千代田3331にて「ポコラート全国公募」コーディネーターも務める。
『美術手帖』『ユリイカ』など多数寄稿。
www.3331.jp pocorart.3331.jp

木ノ戸昌幸



愛媛県生まれ。NPO法人スウィング理事長。フリーペーパー『Swinging』編集長。立命館大学文学部卒。引きこもり支援NPO、演劇、遺跡発掘、福祉施設勤務等の活動・職を経て、2006年にNPO法人スウィングを設立。人の「働き」を「人や社会に働かせること」と定義し、芸術創作活動「オレたちひょうげん族」、清掃活動「ゴミコロリ」、京都人力交通案内「アナタの行き先、教えます。」等の活動をプロデュース。著書『まともがゆれる 一常識をやめる「スウィング」の実験』（2019／朝日出版社）など。
www.swing-npo.com

中野厚志



山口県生まれ。福祉系の大学を卒業後、15年間岡山県内の障がい者支援施設に勤務。その頃から障がいを持った人たちから生み出される数々のモノたちに衝撃を受ける。2013年12月、仲間とともに岡山県都窪郡早島町の築100年以上の蔵を改装した建物で生活介護事業所「ぬかつくところ」を立ち上げ、現在に至る。アートを一つの媒体として、個々の個性や特性をうま味に変化すべく、現在発酵中。
nuca.jp